



## 長野県立こども病院はロボットスーツ 「HAL<sup>®</sup>医療用下肢タイプ」を導入します

長野県立こども病院では、入院患者を対象に「HAL<sup>®</sup> (Hybrid Assistive Limb) 医療用下肢タイプ」を用いた治療を開始しました。長野県内では3施設目、小児の分野では長野県立こども病院が県内初の導入となります。



サイバーダイン（株）提供

### 【HAL<sup>®</sup>医療用下肢タイプについて】

緩徐進行性の神経・筋難病疾患患者を対象に、2015年11月25日付けで新医療機器「生体信号反応式運動機能改善装置（一般名）」として薬事承認された治療ロボットです。装着者の皮膚に取り付けられたセンサーを通して微弱な生体電位信号を感知し、スーツが装着者の動きを支援するように動作します。

当該疾患患者に対する治療処置は、医療保険が適用されています。

長野県立こども病院  
（院長）中村 友彦  
（担当）日詰 恵里子  
電話：0263-73-6700（内線：8211）  
FAX：0263-73-5432  
E-mail：kodomo@pref-nagano-hosp.jp

長野県立病院機構本部事務局  
（事務局長）蔵之内 充  
（担当）櫻井 由香 氷熊 真也  
電話：026-235-7152（直通）  
FAX：026-235-7161  
E-mail：honbu@pref-nagano-hosp.jp